



区民景観セレクション 47選

港区区民景観セレクションとは

区民が誇り、愛着を持つ景観を募集・表彰することで、良好な景観の周知・共有を図るため、平成29年度に創設しました。

セレクション選定景観 ショートムービー |
グランプリ受賞景観を中心に、選定景観の見どころを紹介する動画を
作成しました。

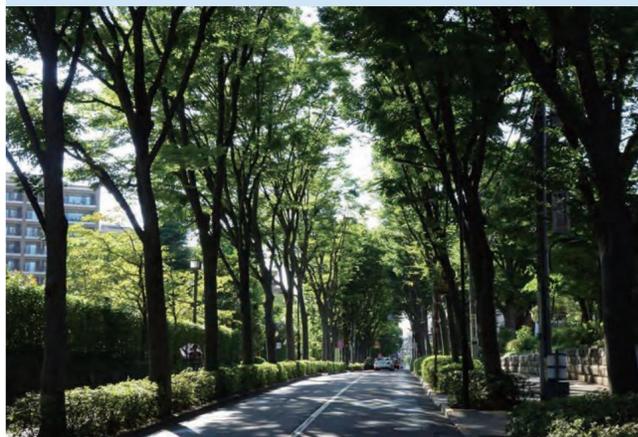


港区

「街並み・街かど」の景観

第1回（平成29年度）グランプリ受賞景観

堀田坂から高陵中学校までのけやき並木



街

応募者からの推薦コメント

ビルが混在する港区にけやきの大木が道路両端に並び緑のトンネルを作ってくれる。若葉の季節、紅葉の彩りはとてすばらしく、テレビのロケにも数多く利用された、港区と渋谷区の境の区道である。高陵中学の前の通学路であり、制服姿がとも映える並木道である。

【応募者 | 高橋 善子様】

選定にあたっての評価コメント

ケヤキ一本一本はまだ若い、車道の両側の幹から枝を広げて天蓋をつくっている。新緑、緑陰、黄葉、冬枯れと折々にこの天蓋は表情を変えるのであろう。都心にありながら喧騒から遠のき、心身が解きほぐされる得難い街路である。応募者の思いと実際の景観とがしっかりと結び合い、選定委員の共感を得てグランプリとなった。

昔ながらの雰囲気や寺町の風情など、味わい深い歴史・文化を感じる景観

第2回（平成30年度）グランプリ受賞景観

台場とその周辺



歴

応募者からの推薦コメント

ベリー来航後の江戸時代にくつきた建造物。江戸時代によくつきたなと感心する。

【応募者 | 匿名】

選定にあたっての評価コメント

幕末に外国艦隊を迎撃する砲台として築造された台場は、こんにち、二つを残して姿を消した。その二つは史跡となり、第三台場は台場公園に、第六台場が「孤島」として野鳥の楽園となっている。日本の近代化の黎明期の遺産の周囲は、13号埋立地やレインボーブリッジなど現代的な建造物が特異な景観を生み出しており、台場との対比が得がたい魅力となっている。

お洒落、にぎわい、美しい並木など、回遊したくなる楽しい通りの景観

第2回（平成30年度）グランプリ受賞景観

明治神宮外苑のイチヨウ並木



通

応募者からの推薦コメント

言わずと知れた、外苑のイチヨウの並木です。日中の青空とのコントラストも素敵ですが、夕暮れ時の藍色の空とのコントラストもとても好きです。

【応募者 | 寺嶋 綾香様】

選定にあたっての評価コメント

芽吹き、緑陰、黄葉と季節ごとの姿で楽しませてくれる神宮外苑のイチヨウ並木は樹齢100年を重ね、人の手で剪定されて絵画館までの姿が整えられています。眺めてよし、歩いてよし、たたずんでよし。人がいるのもよし、誰もいない静寂もよし、朝もよし、夜景もよし。この東京一、いや日本一の並木景観が港区にあるのは大きなよこびです。

東京タワーの見える、とっておきの景観

第3回（令和元年度）グランプリ受賞景観

御成門交差点付近から見る東京タワー



街

応募者からの推薦コメント

光のコラボ。ここからの眺めは恋人たちを魅了する。
【応募者 | 加藤 裕之様】

やっぱりここでしょう！東京タワーを真正面に美しく見えるよう設計された公園。都市らしい。
【応募者 | 匿名】

選定にあたっての評価コメント

港区民ではないので初めてこの場所を教えていただき、こんなにキッチンとすがすがしく東京タワーを見ることができると感動しました。朝見て気持ち良く、夜見てワクワクします。ドラマのロケにもよく使われるというの納得です。意外に知らない人もいますのでもっとアピール出来たらと楽しみになりました。

風情ある坂道や階段、斜面に沿った緑地など、地形を感じる景観

第4回（令和2年度）グランプリ受賞景観

愛宕神社参道の石段



自

応募者からの推薦コメント

冬を迎え、葉の色づきも変わり始めた愛宕神社。息を切らしながら、名物でもある「出世階段」を最上段まで昇り、後ろを振りかえる。そこには紅葉と階段の中心に煌く、立派な鳥居がこちらを見ていた。
【応募者 | 長尾 和宜様】

港区に引越して住んでいたのが、愛宕神社の真裏にあるアパートだった。あれから50年になるが、今も愛宕山の近くに住んでいる。
【応募者 | 高野 憲作様】

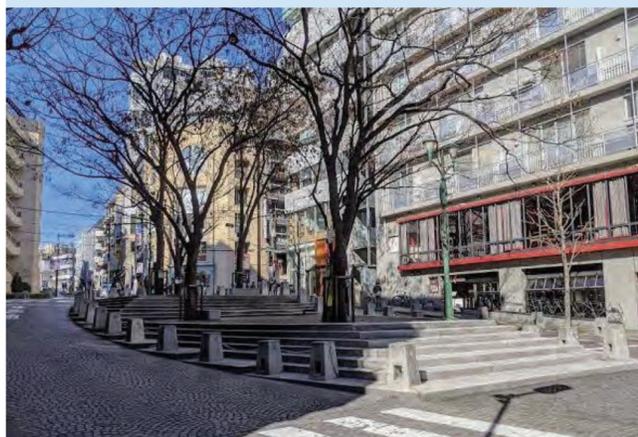
選定にあたっての評価コメント

大鳥居は島木・笠木が湾曲した明神鳥居。この結界の奥に傾斜約45°、石段数86といわれる男坂。これが登る者を無心させ浄化する。帰路はゆっくり女坂を下る。神社参道とはまことによく出来たシステムだ。この男坂は女坂ともにかつては江戸湾眺望で知られた愛宕山への登攀路でもあった。喧噪を離れて江戸に思いを馳せる、貴重な景観だ。

お洒落なしつらえ、印象的で足を止めたくするような、街かどの景観

第4回（令和2年度）グランプリ受賞景観

麻布十番商店街にある広場「パティオ十番」



街

応募者からの推薦コメント

いつもこの場所に来るたびに、まるでヨーロッパの街角に来たような気分になります。広場には、野口雨情の童謡「赤い靴」のモデルになった岩崎きみちゃんの像があります。きみちゃんは、米国人宣教師の養女になったあと、不幸にも結核になり、麻布にある孤児院で9才で亡くなったそうです。目を閉じていると、赤い靴のきみちゃんが踊りだして、楽しそうに遊んでいる姿が浮かびます…
【応募者 | 芦野 武徳様】

選定にあたっての評価コメント

石畳の街路と洒落た商業建築に囲まれた、起伏を活かした階段状の広場は、ヨーロッパの街を思わせる雰囲気気を醸し、街の中庭（パティオ）となっている。街のイベントの舞台になり、6本のクスノキが緑陰をつくり、人々の憩いの場にもなっている。麻布十番といえは思い浮かべる、小規模だけれど人々の物語の舞台となる広場である。

水ともある港区らしい景観

第5回（令和3年度）グランプリ受賞景観

新芝運河沿緑地（みなとパーク芝浦付近）



水

応募者からの推薦コメント

ベンチに腰掛けて演奏する3人組のブロンズ像と横を流れる運河沿の遊歩道は、日頃の疲れをしばし癒してくれる市民の憩いの場となっています。またこの遊歩道の10基のガス灯は、某ガス会社がこの地から石炭の積み下ろしをしていたことを後世に伝えるために設置されたとのことで、明治時代の文明開化を彷彿させる芝浦のシンボルの一つともいえる。
【応募者 | 岡部 正実様】

選定にあたっての評価コメント

長く親しまれてきたリバーサイド・トリオ（黒川晃彦氏制作1992年）はベンチも作品で、いつ通りかかっても、ちょっと一休みするのにもいい、という気分にしてくれる。ガス灯のんびり感を醸し出し、運河沿いを歩く楽しさを高めてくれたのではないだろうか。水辺と暮らしが密接な港区らしい魅力ある空間を創り出している。

【アイコンの見方】

テーマ		季節・時間	
自	自然・地形	歴	歴史・文化
水	水辺	通	通り
		街	街かど
			東京タワー
			紅葉
			夜景